

花巻市まちづくり総合計画第3期中期プランの策定について
 地域協議会・地域自治推進委員会からの意見等一覧

No.	地区等	素案のページ	施策番号	施策名	主管課	区分	意見・質問内容	検討結果（市の考え方）	第3期中期プラン（案）への反映状況	
1	大迫地域協議会	185	5-1-2	機能的な組織運営と人材育成	人事課	質問	・AIやRPA等の導入については、市で単独で実現するものか、外部委託等によるものか。	・市単独で実施できるものとそうでないものがあり、費用対効果を検討しなければならないが、外部委託については実施した業務があるほか、他自治体との共同による導入も考えられる。	-	-
2	大迫地域協議会	102	2-3-4	救急救助体制の強化	消防本部警防課	意見	・救急車の装備など救急隊員の新型コロナウイルス感染症対策が必要ではないか。	・新型コロナウイルス感染症対策について、救急隊員の感染防止対策は総務省消防庁からの指針に基づき万全の体制で救急活動に対応している。救急車の装備については、感染リスクを軽減させるための機材や消毒を実施するための機材を補正予算に計上し充実を図っている。 ・施策の方向に「救急資器材の充実強化」を掲げており、新型コロナウイルス感染症対策を含め、必要な救急体制の整備を図ることとしている。	C（趣旨同一）	-
3	大迫地域協議会	3	重点戦略		秘書政策課	意見	・人口減少対策についての市の方針、目標値があればよいのではないか。	・人口減少対策については、「中期プラン」に掲げる5つの分野を横断的・有機的に連携しながら、施策の重点化を図る「重点戦略」の1つに位置付けている。 ・「重点戦略」に関連する基本政策・施策に掲げる目標値等の達成に向けて取り組むことで、「長期ビジョン」に掲げる将来都市像の実現を目指すものであり、「重点戦略」としての目標値等については掲載していない。 ・「重点戦略」の内、人口減少対策については、129ページより3-1-1「子育て支援の充実」ほか多くの基本政策・施策が関連しており、その基本政策・施策のなかで成果指標として「市の子育て相談体制に満足している人の割合」といった目標値を掲げている。	D（参考）	-
4	大迫地域協議会	46	1-4-1	観光の魅力向上	観光課	質問	・コロナ下において、令和3年度からの東北デスティネーションキャンペーンの実施予定はどうなっているか。	・東北デスティネーションキャンペーンは、東北6県の自治体や観光関係者とJR6社などが一体となって行う大型の観光キャンペーンであり、当初の予定どおり令和3年4/1～9/30の6か月間開催することで準備を進めている。	-	-
5	大迫地域協議会	171	4-1-1	地域づくりへの参加促進	定住推進課	意見	・若い人で移住を希望する方が多いようだ。何を目的に移住を希望しているのかを見極め、市で支援すべきと考える。コロナ下において、リスクではあるものの、「ピンチはチャンス」と捉えて推進していただきたい。	・施策4-1-1「地域づくりへの参加促進」において、施策の方向性として、U I J ターン希望者等の移住促進を掲げてしていたが、対象を幅広い世代とする。また、移住に関するニーズ把握、支援策の充実などの環境整備についても追記することとする。これにより、施策の方向性を「市外からの移住希望者や市内子育て世帯等の移住・定住の促進と環境等整備」と記載する。	B（一部反映）	施策の方向に「市外からの移住希望者や市内子育て世帯等の移住定住促進と環境等整備」を追記
6	大迫地域協議会	57	1-5-2	特産品の開発	定住推進課	意見	・ワインの付加価値向上のため、例えば、ノンアルコールワインを開発に力を入れてはどうか。「邪道」と思われても、新たな発見、相乗効果が見込めるのではないか。	・既存ワイナリーやワイナリー設立希望者等に対し、アイデアとして伝えていく。	D（参考）	-

No.	地区等	素案のページ	施策番号	施策名	主管課	区分	意見・質問内容	検討結果（市の考え方）	第3期中期プラン（案）への反映状況	
7	花巻市自治推進委員会	57	1-5-2	特産品の開発	定住推進課	質問	・商品開発や販路拡大について、ワイン以外の花巻市の支援はどのようなものがあるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・農畜産物全般について、商品開発、販路拡大の支援を実施している。 ・現在まで、カボチャやブルーベリー、その他特徴的な野菜を活用した商品開発について相談等を受けている状況である。また、そのうち数件については委託製造等により、商品化を進めている。 ・販路拡大支援としては、昨年度、首都圏の複数の飲食店で1か月にわたり開催したワインPRイベント「花巻の恵みフェア」において、ワインと合わせて白金豚やホロホロ鳥、旬の野菜といった花巻の食材を使用した料理を提供し、花巻産食材等の魅力を発信した。 ・花巻市のふるさと納税の返礼品として、野菜や精肉、加工品など花巻の特産品を全国各地の寄付者へ贈り、特産品のPRや販路拡大を促進している。 	-	-
8	花巻市自治推進委員会	全体			秘書政策課	質問	・第2期中期プランの評価結果は公表されているのか。	・毎年の評価については、市ホームページで公表している。令和元年度分の評価についてはこれからである。	-	-
9	花巻市自治推進委員会	全体			秘書政策課	質問	・第3期中期プランの策定に当たり、第2期中期プランの評価結果が重要だと思うが、3年間の総括をしているのか。	・第2期中期プランの計画期間のうち、H29・H30の評価結果を踏まえて第3期中期プランを検討、策定したが、現段階では、最終年度であるH31の評価を実施済みであることから、3年間の成果や事業費について総括を行うこととしている。	-	-
10	花巻市自治推進委員会	46	1-4-1	観光の魅力向上	観光課	意見	・観光振興においても、新型コロナウイルス感染症対策について記載すべきではないか。各施設に協力を求めたりすることなど、現状を反映した方向性を盛り込むとよいのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策に関する事業者支援制度の新設、既存制度の拡充を随時行っている。 ・今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況や、国・県の動向を注視しながら、方向性を検討し、必要に応じて記載内容を見直す。 	D（参考）	-
11	花巻市自治推進委員会	46	1-4-1	観光の魅力向上	観光課	質問	・観光振興に関連して、花巻温泉とその他の資源うまくリンクしているように見えない。その中で東北デスティネーションキャンペーンについてはどのようなことを実施するのか。	・東北デスティネーションキャンペーンに併せた市独自事業のついては今後の検討となる。観光コンテンツの拡充や受入環境の整備を行う予定である。	-	-
12	花巻市自治推進委員会	46	1-4-1	観光の魅力向上	観光課	意見	・東北デスティネーションキャンペーンについて、前回の感触では、上手くPRできている自治体とそうでない自治体の差があった。観光資源を関連付けて集客につなげるべき。	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の方向において「東北デスティネーションキャンペーンでの集客を目指した魅力的な観光コンテンツの検討」を盛り込んでいる。 ・同キャンペーンの市独自の特別企画として、期間限定での宮沢賢治「雨ニモマケズ」実物の手帳公開、童話村森のライトアップの連日実施、宮沢賢治の童話をテーマとした八幡田んぼアートなど、県と連携して魅力的なコンテンツを抽出し、東北デスティネーションキャンペーン実行委員会の旅行会社向けの特設サイトに当市の観光コンテンツとして掲載し、旅行商品の造成につなげる取り組みを行っている。 	C（趣旨同一）	-

No.	地区等	素案のページ	施策番号	施策名	主管課	区分	意見・質問内容	検討結果（市の考え方）	第3期中期プラン（案）への反映状況
13	花巻市自治推進委員会	129	3-1-1	子育て支援の充実	こども課	意見	・待機児童については、ここ数年で保育園等の定員が増えたことにより、解消されたのではないかと。また、公立幼稚園が定員割れしていることから、今後の在り方について検討することで、保育士の不足の解消にもつながるのではないかと。そのため、本施策の現状・課題について再検討すべきではないかと。	・保育園等の待機児童については、ここ数年の保育施設の新設に伴い定員が増えたこと等により、令和2年4月時点で5年ぶりにゼロを達成したところである。一方、例年年度途中からの保育需要が増加する傾向にあり、本年7月以降は待機児童が発生し、現状では完全に解消するには至っていない。また、利用定員が増加したことにより、子どもを預けて就労したいと思う親が増え、潜在需要を掘り起こし、入所申し込みが増えることも考えられることから、待機児童の解消は引き続き課題である捉えている。 ・公立幼稚園の定員割れについては、施策3-1-3「就学前教育の充実」において、課題や施策の方向に「公立幼稚園の適正な配置、あり方の検討」を掲げており、本年度「（仮称）公立保育園・幼稚園の適正配置に関する基本指針」を策定することとしている。市内の保育・教育に携わる法人立施設との意見交換会などを実施しながら公立施設の適正配置のあり方について検討していく。	C（趣旨同一） -
14	花巻市自治推進委員会	129	3-1-1	子育て支援の充実	こども課	意見	・コロナ下で学童クラブのニーズが高まっていることから、学童クラブの体制強化について、大きく取り上げるべきではないかと。	・新型コロナウイルス感染症の影響による小中学校の一斉休校に伴い、緊急的に学童クラブの利用を希望した方が市全体で30人程度あったが、近年は就学前児童の保育需要の高まりにより、就学後も学童クラブを利用する家庭が増え、通常利用の需要が高まっていることから、学童クラブの運営や施設整備等の体制強化が課題であると認識している。 ・施策の方向において「地域における子育て支援の推進」を掲げ、待機児童が発生している学童クラブの増築や学童クラブの統合等により効率的な運営が図られるよう取り組んでいく。	C（趣旨同一） -
15	花巻市自治推進委員会	117	2-5-3	障がい者福祉の充実	障がい福祉課	意見	・65歳になった障がい者が介護保険サービスに移行する際などの連携が悪いと感じるが、そういった際の相談窓口は「花巻市地域自立支援協議会」が担うのか。こういったことについて広報をしっかりとしてほしい。	・65歳を迎える障がい福祉サービス利用者全員に対し、障がい福祉課及び関係者より事前かつ個別に制度の切替えに関する説明を行っている。窓口は障がい福祉課であり、よりわかりやすい広報を心がける。	D（参考） -
16	花巻市自治推進委員会	28	1-1-2	担い手の育成	農政課	意見	・「農業次世代人材投資事業制度」については、用語解説が必要ではないかと。	・用語解説が必要と判断し、追記する。 農業次世代人材投資事業制度・・・農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するには、次世代を担う意欲ある農業者の確保・育成が必要であることから、就農希望者や新規就農者を支援する国の制度。就農前の研修期間に最長2年間、最大150万円の資金を交付する「準備型」と、営農定着に向け最長5年間、最大150万円（夫婦で収納する場合は最大225万円）の資金を交付する「経営開始型」の2本立てで構成されている。	A（全部反映） 巻末の用語解説に「◆農業次世代人材投資事業制度」追記
17	花巻市自治推進委員会	8			秘書政策課	その他	・学級統合→学校統合		修正済み
18	花巻市自治推進委員会	135	3-1-3	就学前教育の充実	こども課	意見	・公立保育園の民営化後の振興についても施策の方向性を示すべきではないかと。	・民営化後の保育園については、施策3-1-1「子育て支援の充実」において、他の法人と同様に保育サービスの充実を図ることとし、保育施設運営支援事業等により各種支援を実施することとしている。	C（趣旨同一） -
19	花巻市自治推進委員会	46	1-4-1	観光の魅力向上	観光課	意見	・観光振興の施策展開に当たっては十分に連携をお願いしたい。	・施策の方向において「花巻観光振興ビジョンによる観光振興の取組を進める観光地域づくり法人（DMO）との連携」を盛り込んでおり、今後DMO認定を目指している（一社）花巻観光協会を中心として、様々な観光関係者との連携を十分に行い、観光振興の施策を展開していく。	C（趣旨同一） -
20	花巻市自治推進委員会	16			秘書政策課	その他	・稼働掘削→河道掘削		修正済み

No.	地区等	素案のページ	施策番号	施策名	主管課	区分	意見・質問内容	検討結果（市の考え方）	第3期中期プラン（案）への反映状況	
21	東和地域協議会	46	1-4-1	観光の魅力向上	観光課	質問	・東北デスティネーションキャンペーンとはどのようなものか。	・東北デスティネーションキャンペーンは、東北6県の自治体や観光関係者とJR6社などが一体となつて行う大型の観光キャンペーンであり、令和3年4/1～9/30の6か月間開催する予定である。	-	-
22	東和地域協議会	60	1-5-3	企業誘致の推進	商工労政課	質問	・産業団地整備について、二枚橋地区の進捗状況と、新たな候補地をお聞きしたい。	・二枚橋地区については、今年度整備を完了する予定である。 ・新たな産業団地については、現在花南地区で調査を行っており、今後確定した段階でプランに反映させていく。	-	-
23	東和地域協議会	149	3-3-1	自主的学習の推進	生涯学習課	質問	・新花巻図書館の進捗状況をお聞きしたい。文化会館とは別に建設することに決定したのか。	・図書館の設置場所や建設方法等については現在検討中であり、具体的に決まっていないため、素案に事業費を計上していない。 ・文化会館と新花巻図書館との併設の有無についても、確定しているものではない。	-	-
24	東和地域協議会	46	1-4-1	観光の魅力向上	観光課	質問	・観光地域づくり法人（DMO）については、いつ頃に設立するものか。	・7/21に観光地域づくり法人（DMO）の登録を申請し、現在、観光庁において審査中である。	-	-
25	東和地域協議会	145	3-2-4	教育環境の充実	学務管理課	質問	・タブレットの活用に関する成果指標について、国の予算頼みで花巻市の事業が決まっていなくてもかかわらず、令和2年度73.3%を目指すのか。	・国の方針として、令和4年度までに100%配備を目指すことが示されており、花巻市においても国の交付金を活用して順次進めることとしている。 ・国の補正予算の状況をみながら、事業追加する予定。	-	-
26	東和地域協議会	146	3-2-4	教育環境の充実	学務管理課	質問	・部活動適正化促進事業の具体的な内容についてお聞きしたい。	・市内11中学校に、各学校の部活動の種目等の要望に応じて1名～数名の部活動指導員を配置し、顧問の先生の負担軽減を図っている。	-	-
27	東和地域協議会	160	3-4-3	大規模スポーツ大会の開催	スポーツ振興課	質問	・スポーツ施設の修繕計画についてお聞きしたい。	・令和2年度においては、花巻球場の受電盤の改修設計のほか、東和地域においては和田プールのろ過装置の更新、毘沙門ドームのシーートの張替えの設計などを計画している。 ・令和3年度以降は、今年度設計した分の工事などを行う予定。市内には多くのスポーツ施設があることから、事業費を平準化しながら計画的に改修を行っていくもの。	-	-
28	東和地域協議会	183	5-1-1	窓口サービスの充実	人事課	質問	・マイナンバーカードの取得率が低いとのことだが、現在の取得率はどのくらいか。また、マイナンバーカード取得のメリットや今後どのように活用されるのかについてお聞きしたい。	・マイナンバーカードの市内の交付率は、令和2年7月末現在で14.4%である。 ・マイナンバーカードにより今般の定額給付金申請などが可能であったが、市内での利用はごく少数であった。 ・今後の展開について、国としては令和3年3月から一部、保険証としての機能を持たせるとして、5年3月までに概ねすべての医療機関での導入が図られるよう支援をすることとしている。	-	-
29	東和地域協議会	114	2-5-2	高齢者福祉の充実	長寿福祉課	質問	・地域のボランティアが高齢者等の日常の買い物を自家用車でサポートする取組を実施していると思うが、市の支援としてはどの事業が該当するものか。国の補助に加え、市の補助を受けて実施しているものか。	・主要事業の「介護予防・生活支援サービス事業」の中の「訪問型サービスB」が該当する。 ・平成30年度から自動車による買い物、病院等への付き添い支援等を実施する地域ボランティア団体に対して、市訪問型サービス事業補助金を交付しており、その財源として国県の負担分も含まれている。	-	-

No.	地区等	素案のページ	施策番号	施策名	主管課	区分	意見・質問内容	検討結果（市の考え方）	第3期中期プラン（案）への反映状況	
30	東和地域協議会	183	5-1-1	窓口サービスの充実	人事課	意見	・マイナンバーカードについて、国の事業とはいえPR不足ではないか。 （今般のPayPayの事業についても同様であり、詳しい内容・加盟店の発表がなされていない。）	・マイナンバーカードのPRについては課題と認識しており、施策の方向に「個人番号カードを利用した各種手続きの普及促進と導入対策」を盛り込んでいる。 ・なお、今般のPayPayの事業に関して、新型コロナウイルス感染症の経済対策事業として、短期間に様々な準備を行う必要があったことから、6月の記者会見や広報（7月1日号・7月15日号）等で概要をお知らせし、7月27日に市ホームページで対象店舗等の詳細を公表するとともに、広報（8月1日号）で改めてお知らせしたところである。今後もタイムリーで分かりやすい広報を心がける。	C（趣旨同一）	-
31	東和地域協議会	74	2-1-4	循環型社会の構築	生活環境課	質問	・成果指標において、一般廃棄物排出量は減っていく一方で、ごみ収集運搬事業費などは増えるものか。	・リサイクルが進み、「ごみ」としての一般廃棄物排出量が減っても、ごみ集積所ごとに回収するコストは変わらず、人件費の増加に伴い委託料が増加する見込み。 ・広域でごみ処理を行っている岩手中部広域行政組合へ支払う負担金についても、人件費の増加や同組合の施設整備の元金の償還が始まったこと等により増加している。	-	-
32	東和地域協議会	全体			秘書政策課	意見	・新型コロナウイルス感染症の影響を反映した代替案「プランB」を策定すべきではないか。	・「中期プラン」には、計画期間中に継続的に実施する施策等について掲載することとしている。 ・新型コロナウイルス感染症対策に関して、一時的、緊急的に実施する内容、現段階で実施の有無が決定していない内容については掲載しないが、避難所における感染症対応など今後も継続して実施する必要があるものについては、現段階で掲載している。 ・今後、新型コロナウイルス感染症に関する内容に限らず、必要に応じて見直しを検討する。	D（参考）	-
33	東和地域協議会	全体			秘書政策課	質問	・成果指標について、H30の基準値に比べてR2の目標値が飛躍しているのを見受けられるが、その理由を知りたい。（例えば4-1-1のイベント来場者数、2-3-3の消防団員数の充足率）	・本プランの策定に当たり、成果指標の見直しを実施しており、目標値については、花巻市のこれまでの実績のほか、他自治体の水準や上位計画の目標値などを参考に設定している。 ・例1：施策1-4-1「観光の魅力向上」におけるイベントの来場者数については、これまでの花巻市の実績と、岩手県の計画に準じた伸び率を考慮して目標値を定めている。 ・例2：施策2-3-3「消防力の強化」における消防団員数の充足率については、H18年の合併以降、定数と実員数の乖離が続いており、定数の削減を検討してきたところ。市議会9月定例会に団員定数の条例改正（定数削減）を提出する予定であり、これに伴い、消防団員数の充足率が向上する見込みとなったことから、目標値を見直したもの。また、地域防災力の中核を担う団員の確保対策は優先課題でもあることから、広報媒体の活用や団員が活動しやすい環境を整備することにより年0.5%ずつの増加を目指していくもの。	-	-
34	石鳥谷地域協議会	全体			秘書政策課	意見	・新型コロナウイルス感染症の影響は後年に及ぶものであり、現在進行形であるため難しいと思うが、感染症対策等これまでと異なる対応が必要な内容について、今後プランに反映する必要があるのではないか。	・「中期プラン」には、計画期間中に継続的に実施する施策等について掲載することとしている。 ・新型コロナウイルス感染症対策に関して、一時的、緊急的に実施する内容、現段階で実施の有無が決定していない内容については掲載しないが、避難所における感染症対応など今後も継続して実施する必要があるものについては、現段階で掲載している。 ・今後、新型コロナウイルス感染症に関する内容に限らず、必要に応じて見直しを検討する。	D（参考）	-

No.	地区等	素案のページ	施策番号	施策名	主管課	区分	意見・質問内容	検討結果（市の考え方）	第3期中期プラン（案）への反映状況	
35	石鳥谷地域協議会	135	3-1-3	就学前教育の充実	こども課	質問	・「保幼小接続カリキュラム」とはどのようなものか。	・「保幼小接続カリキュラム」とは、小学校就学後における教科等の学びに円滑につながるため、保育園・幼稚園・認定こども園での幼児教育において育てたい学びの土台となる力や身に付けさせたい力を示し、子どもたちの資質・能力を伸ばしていくことを目的に教育委員会が作成したもので、「花巻市アプローチカリキュラム全体像」と「花巻市スタートカリキュラム全体像」がある。 ・用語解説が必要と判断し、追記する。	A（全部反映）	巻末の用語解説に「◆保幼小接続カリキュラム」追記
36	石鳥谷地域協議会	145	3-2-4	教育環境の充実	学務管理課	質問	・「コミュニティ・スクール」については、具体的に市が進めるものか、学校が進めるものか。	・今後、学校と地域が力を合わせて学校運営に取り組む制度。地域住民等が学校運営協議会を作って具体的な意見を出していくものであり、市はその仲介役を担う。 ・今年度は制度を知ってもらうため、地域住民等に対して周知を図る予定。	-	-
37	石鳥谷地域協議会	121	2-6-1	健康づくりの支援	健康づくり課	意見	・新型コロナウイルス感染症に関して、施策の方向の「(3) 感染症予防の推進」に位置づけられるのではないかと。今後、ワクチンの開発が進めば、追加修正の可能性はあるものか。	・新型コロナウイルス感染症は、本施策「感染症予防の推進」に含めて考えている。 ・新型コロナウイルス感染症のワクチン接種については、国や県の方針（開発時期・接種方法等）が明確でないことから、現段階ではご意見として承る。	C（趣旨同一）	-
38	石鳥谷地域協議会	8			秘書政策課	その他	・学級統合→学校統合			修正済み
39	石鳥谷地域協議会	146	3-2-4	教育環境の充実	学務管理課	質問	・「小中学校学区再編等調査事業」の中の「保育教育環境検討会議」について、なぜ「保育」が関係するのか。	・小中学校学区再編等調査事業は、小中学校の学区再編のみならず、保育園、幼稚園、小中学校の望ましい在り方を検討するための調査事業である。 ・この事業において開催する有識者会議「保育教育環境検討会議」では、公立保育園の再編など、保育・教育環境の整備に係る諸課題等について、幅広くご意見を伺うことを予定している。	-	-
40	石鳥谷地域協議会	111	2-5-1	地域福祉の推進	地域福祉課	意見	・「自助」、「公助」、「共助」の記載があるが、福祉に携わる人にとっては「互助」が大切である。「互助」を使わないのであれば、理由についての注意書きがあった方がよいのではないかと。	・地域福祉の推進や災害対応等において「互助」の重要性は認識しているが、本プランにおいては、「互助」を含み、「互助」よりも広範囲な「共助」という概念のもとでの仕組みづくりを考えている。	D（参考）	-
41	石鳥谷地域協議会	145	3-2-4	教育環境の充実	学務管理課	要望	・コミュニティ・スクールについて、岩手県や花巻市では、これまでの評議員制度などの取組をどう評価しているのか。また、それを踏まえてなぜコミュニティスクールを目指すのか、説明をしっかりとしてほしい。	・コミュニティ・スクールの制度や導入の意義等については、今後、パンフレット等で周知・説明を図る予定。	-	-
42	石鳥谷地域協議会	140	3-2-2	豊かな人間性の育成	学校教育課	要望	・新型コロナウイルス感染症を通じて子どもたちに学んでほしいことがあるのではないかと。復興教育のように、「リスク対策」の教育が必要ではないかと。	・新型コロナウイルス感染症のリスク対策については、小学校では保健、中学校では保健体育の感染症予防等と関連付けて学習する。	-	-
43	石鳥谷地域協議会	56	1-5-1	起業の推進	商工労政課	質問	・成果指標「インキュベーター施設を卒業して事業所開設した企業数」の目標2社に対し、毎年4,850万円もの事業費を投じるのか。	・インキュベーター施設は、起業支援センター研究室8室、同工場棟13棟、賃貸工場10棟、ビジネスインキュベーター6室の計37区画で構成されているが、それらの維持管理や事業支援などのコーディネーター等に要する経費が48,500千円となっているものである。 ・直近の実績では、令和元年度が3社、平成30年度がゼロ、平成29年度が1社となっており、今後、一般社団法人ビジネスサポート花巻等のサポート体制強化により事業を進めていく方向。	-	-

No.	地区等	素案のページ	施策番号	施策名	主管課	区分	意見・質問内容	検討結果（市の考え方）	第3期中期プラン（案）への反映状況	
44	石鳥谷地域協議会	55	1-5-1	起業の推進	商工労政課	意見	・「インキュベート施設を卒業して事業所開設した企業数」の成果が低いことの対応策を課題に記載すべきではないか。	・インキュベート施設への入居期限満了前に卒業し市内で事業継続する企業、入居期限満了をもって卒業し市内へ展開する企業、事情により入居期間を延長（更新）する企業があり、時期的な要因により卒業して事業所を開設する企業数に増減が生じている。 ・インキュベート施設を活用した企業の推進については課題や施策の方向に掲げており、インキュベート施設の指定管理者である一般社団法人ビジネスサポート花巻と連携し、同法人のコーディネータの知識・経験を活かしながら、卒業後の事業展開や事業継続に向けた経営・技術等の支援体制の充実を図っていく。	C（趣旨同一）	-
45	石鳥谷地域協議会	全体			秘書政策課	質問	・人口が減少する中、マンパワーが必要な施策もあるが、プランの達成に問題はないものか。	・各施策の指標の達成のためにも、人口減少に可能な限り歯止めをかけ、移住・定住促進に取り組む。	-	-
46	石鳥谷地域協議会	全体			秘書政策課	質問	・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、新たに在宅勤務や地方都市への本社機能の移転等が広がっているが、プラン策定に当たり、これらについて検討したのか。	・本社機能の移転等については、現段階で素案に盛り込んでいない。 ・市役所においては、万が一の際の事業継続について検討中である。	-	-
47	石鳥谷地域協議会	153	3-3-3	国際都市の推進	生涯学習課	意見	・新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、国際理解のあり方や、施策の目指す姿が以前のままでよいものか。	・現段階で今後4年間の計画期間中の新型コロナウイルス感染症の影響等を見極めることが困難であり、今後、必要に応じて見直しを検討する。	D（参考）	-
48	石鳥谷地域協議会	144	3-2-4	教育環境の充実	学務管理課	意見	・ICT化も有効であるが、学校図書館の整備、蔵書量の充実や司書の育成が大切である。	・学校図書館の充実に関しては、これまで主要事業の「学校地域協働連携事業」において図書館ボランティアによる読み聞かせ等の取組を行ってきたところ。 ・施策の方向として、「コミュニティ・スクールの推進」を掲げており、今後、「学校地域協働連携事業」において、学校と地域とが力を合わせて学校運営に取り組む体制を進めていくことにより、これまでの図書館ボランティアの取組についても一層の活性化を図る。	C（趣旨同一）	-
49	石鳥谷地域協議会	全体			秘書政策課	質問	・素案策定に際して、第2期中期プランの総括を行ったのか。	・第2期中期プランの計画期間のうち、H29・H30の評価結果を踏まえて第3期中期プランを検討、策定したが、現段階では、最終年度であるH31の評価を実施済みであることから、3年間の成果や事業費について総括することとしている。	-	-
50	石鳥谷地域協議会	全体			秘書政策課	質問	・プランの策定体制について、市長を本部長とするプロジェクトチームなどを作ったのか。	・特に組織化していない。通常の体制の中、秘書政策課が取りまとめ役となり、全部課で策定した。	-	-
51	石鳥谷地域協議会	全体			秘書政策課	質問	・プラン策定に当たり、どういった市民参画の手法をとったのか。	・パブリックコメントと各地域協議会・地域自治推進委員会への諮問である。	-	-
52	石鳥谷地域協議会	全体			秘書政策課	質問	・パブリックコメントの結果が0件であった所感をお聞きしたい。	・振興センターなどに備え付けた素案を見ていただき、その結果として、ご意見がゼロであったものである。	-	-
53	石鳥谷地域協議会	全体			秘書政策課	質問	・当初予定していた市民説明会は、なぜなくなったのか。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、市民説明会で人を集めることが難しくなったことから、パブリックコメントに切り替えたものである。	-	-
54	石鳥谷地域協議会	全体			秘書政策課	質問	・総合計画審議会への諮問については、本日の素案と同じ内容か。	・地域協議会等のご意見を検討し、反映すべきものを反映させた最終案を総合計画審議会に諮るものである。	-	-

No.	地区等	素案のページ	施策番号	施策名	主管課	区分	意見・質問内容	検討結果（市の考え方）	第3期中期プラン（案）への反映状況	
55	石鳥谷地域協議会	3	重点戦略		秘書政策課	質問	・重点戦略については、総合戦略と同じ内容か。	・重点戦略は「中期プラン」に掲げる5つの分野を横断的・有機的に連携しながら、施策の重点化を図るものである。 ・総合戦略については、その中でも特に、「花巻市人口ビジョン」を踏まえ、まち・ひと・しごとの創生に向けた4つの基本目標に対応する施策について重点的に展開することとしている。 ・総合戦略の内容は重点戦略に包括され、重複する部分もあるが、目標が異なるものである。	-	-
56	石鳥谷地域協議会	1			秘書政策課	質問	・p1に「特に必要が生じた場合には、見直しを行うことがある」とあるが、新型コロナウイルス感染症に対応して、見直しを行う考えがあるか。	・「中期プラン」には、計画期間中に継続的に実施する施策等について掲載することとしている。 ・新型コロナウイルス感染症対策に関して、一時的、緊急的に実施する内容、現段階で実施の有無が決定していない内容については掲載しないが、避難所における感染症対応など今後も継続して実施する必要があるものについては、現段階で掲載している。 ・今後、新型コロナウイルス感染症に関する内容に限らず、必要に応じて見直しを検討する。	-	-
57	石鳥谷地域協議会	全体			秘書政策課	所感	・現状と課題を分けたせいか、冗長で見づらく感じる。もっとコンパクトにすればよかったのではないか。	-	-	-
58	石鳥谷地域協議会	全体			秘書政策課	意見	・成果指標のうち、活動指標と思われるものがあり、精査が必要ではないか。	・本プランの策定に当たり、成果指標の見直しを実施しており、「行政の取組による最終的な成果」の実績把握が困難な場合、その手前段階の「行政の取組による直接的な成果」を成果指標としたものもある。 ・例えば、施策2-2-1「道路環境の充実」において、「市道の改良率」等を成果指標としている。本来、市道の改良率の向上の結果、市民にとって安全で利便性が高い道路となったことが「行政の取組による最終的な成果」であると考えるが、その把握が困難であること、一般に「市道の改良率」等の向上が市民にとっての利便性等の向上に直結することから、手前段階の指標を設定したもの。	D（参考）	-
59	石鳥谷地域協議会	全体			秘書政策課 地域づくり課	意見	・地域自治区の振興について、重点戦略に加えてほしい。重点戦略が難しい場合は、基本政策や施策に項目を加えられないか。	・地域自治区の振興に当たっては、地域住民の多様な意見を集約しながら市に対して意見を述べる機関として地域協議会が重要な役割を担っている。 ・本市においては、コミュニティ地区単位での地域主体によるまちづくりを進めてきたところであり、持続可能な地域自治を目指し、今後も地域主体で地域課題の解決に取り組むことが必要と考えている。	D（参考）	-
60	石鳥谷地域協議会	全体			秘書政策課	意見	・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて内容の見直しを行った上で、もう一度各種審議会に諮るべきである。	・「中期プラン」には、計画期間中に継続的に実施する施策等について掲載することとしている。 ・新型コロナウイルス感染症対策に関して、一時的、緊急的に実施する内容、現段階で実施の有無が決定していない内容については掲載しないが、避難所における感染症対応など今後も継続して実施する必要があるものについては、現段階で掲載している。 ・今後、新型コロナウイルス感染症に関する内容に限らず、必要に応じて見直しを検討する。	D（参考）	-

No.	地区等	素案のページ	施策番号	施策名	主管課	区分	意見・質問内容	検討結果（市の考え方）	第3期中期プラン（案）への反映状況	
61	石鳥谷地域協議会	171	4-1-1	地域づくりへの参加促進	地域づくり課	意見	・地域の担い手の確保のためには、移住・定住促進だけでなく、現在いる人の力をどう活用するかも大切である。	・地域の担い手確保や地域づくり活動の維持のためには、地域住民の参画が不可欠であることから、施策の方向において「若者や女性など市民みんなが地域づくりに参画できる仕組みづくりへの支援」を掲げている。 ・課題をより明確にするため、「地域づくり活動の維持や担い手確保のため、若者や女性の地域づくりへの参画の促進が必要である」旨を追記することとする。	B（一部反映）	◇課題に「地域づくり活動の維持や担い手確保のため、若者や女性の地域づくりへの参画の促進」を追加
62	石鳥谷地域協議会	171	4-1-1	地域づくりへの参加促進	地域づくり課	意見	・コミュニティ活動支援について、ハードだけではなく、若者が主体となる取組への支援を考えられないか。	・施策4-1-1「コミュニティ会議の基盤強化」の施策の方向に「若者や女性など市民みんなが地域づくりに参画できる仕組みづくりへの支援」を掲げているほか、施策4-2-2「公益的活動への支援」の施策の方向において、「ボランティア団体やNPO法人等が行う公益的活動への支援」を行うこととしている。これらにより若者主体の取組を支援していくものである。	C（趣旨同一）	-
63	石鳥谷地域協議会	175	4-1-2	コミュニティ会議の基盤強化	地域づくり課	意見	・成果指標「地域の総課題件数のうち、地域で課題解決した件数の割合」に関連して、各コミュニティ会議で様々な取組を行っている。そういった努力に光を当てるために、座談会の開催等市の取組があってもよいのではないか。	・各コミュニティ会議による地域での取組については、施策の方向に「コミュニティ会議との協議」、「コミュニティ会議による地域づくりの情報発信」を掲げ、情報交換や発信を行っていくこととしている。コミュニティだよりを中心とした地域情報の発信について、市の広報やホームページの活用を含め取り組んでいきたいと考えている。	C（趣旨同一）	-
64	石鳥谷地域協議会	145	3-2-4	教育環境の充実	学務管理課	意見	・部活動よりもスポーツ少年団の活動の方が過剰と感ずるため、そちらへの指導も必要ではないか。	・施策の方向として「適正な部活動の推進」を掲げており、その一環として、スポーツ少年団本部に対し、スポーツ少年団の活動に関して中学校の部活動に準じた配慮を要請している。	C（趣旨同一）	-
65	石鳥谷地域協議会	146	3-2-4	教育環境の充実	学務管理課	質問	・部活動適正化促進事業の部活動指導員は花巻市で雇用しているのか、それともボランティアか。	・部活動指導員は、花巻市が会計年度任用職員として雇用している。	-	-
66	石鳥谷地域協議会	145	3-2-4	教育環境の充実	学務管理課	質問	・1人1台タブレットの導入について、本当に実現可能か。	・国の方針として1人1台の導入を目指すこととしており、花巻市では今年度までに学校の通信環境整備を完了する。今後、コロナ関連の国の交付金を活用しながらタブレットの導入を進めることとしている。	-	-
67	石鳥谷地域協議会	144	3-2-4	教育環境の充実	学務管理課	要望	・ゴールデンウィーク中のFM花巻での授業について、どのような反応であったか。可能であれば今後も続けていただきたい。	・コロナの影響により休校となった際にテストケースで実施したものであるが、好評であった。タブレット等で対応した学校・自治体もあり、今後は負担を抑えて実施する手法を検討したい。ご意見として担当課に伝える。	-	-
68	石鳥谷地域協議会	26	1-1-1	農業生産の支援	農政課	要望	・有害鳥獣被害対策事業について、実際の整備費用に対して補助金額が少ないため、上限を上げていただきたい。	・電気柵の設置に要する経費を補助する「花巻市有害獣対策事業補助金」は、個人申請の場合、設置に要する経費の1/2に相当する額で7万円を上限に補助している。 ・上限額の設定については、標準的な事業費から積算しており、その実績も大きくかい離していないことから、現在のところ上限額を見直す予定はない。 ・なお、平成28年度より、団体で申請した場合、設置に要する経費3/4に相当する額で30万円を上限とした個人申請より高率な支援を実施している。	-	-